

盛岡短期大学部 生活科学科 生活デザイン専攻 <令和2年度 推薦入試>

【出題意図】

読解力（問1）と、作者の意見を推考できる判断力（問1）と、それに対応させた自分の意見を考える思考力（問2）、そして、その意見を文章であらわす表現力（問2）を判断する。

問1

作者が捉えている人間工学とデザインとの関係は、人間工学が機能を数量的に表示するための有効な手段として、機能を強く要求するデザインと結びつき、人間工学は、有力なひとつの武器ではあるが、しかしそれは、あくまでもデザインのための手段であって、それがすべてを解決してくれるものではないと捉えている。 （148文字）

採点：本文の内容（解答例下線部など）を含めて、文章として記述されているかを採点する。

問2

著者は、デザインについて、工業デザインのような機能を要するデザインと、クラフトデザインのような機能をそれほどには要求しないデザインに分けられ、人間工学では、機能を数量的に表示するための有効な手段が必要であると考えている。

志願者は、今後、ドレスのデザインを学習したいと考えている。なお、志願者は感激が好きで、舞台衣装を製作する仕事に就きたいと考えているため、ドレスは、宝塚歌劇の舞台衣装のようなものを想定している。通常、舞台は、複数回繰り返して演劇される。したがって、その演劇されている期間に舞台衣装がほつれたり破れたりすることがあっては駄目であろう。細かく舞台衣装に必要な機能を考えていくと、ほつれたり、破れたりしないことだけでなく、ある程度の伸縮ができないと、舞台の激しい踊りなどに対応できなくなる。さらには、ドレスを羽織る女優さんの体調に合わせて、サイズの調整ができるようにしておかないと駄目だろう。もちろんのこと、舞台衣装としてこのような機能が備わっているだけでなく、女優さんの演技に対応した形や色も必要となる。また、今の時点で志願者が知らない必要な機能などあるだろう。

このように、志願者は、色や形だけのスタイリングだけのデザインではなく、女優の演技や体調に応じた機能を備え持ったドレスとはどのようなものか、今の志願者の知識を増やすために学習していきたい。 （582文字）

採点：著者の工業デザインについて、志願者の学習したい対象物について、学習したいデザインについて、デザインに大切な内容について、将来の展望について、などを総合的に採点する。

例：対象物の説明、学習したい対象物のデザイン、デザインに大切な要素など

盛岡短期大学部 生活科学科 食物栄養学専攻 <令和2年度 推薦入試>

【作題意図】

問1

本文中から該当する部分を抽出し、制限数字内で要約させ、理解力・読解力・表現力をみる。

問2

筆者が対象者との体験で学んだ「受け身でなく」、「意見を聞く機会を自らつくって」、「傾聴する」エピソードについて、受験生自身の体験したことと併せ、今後の考えを交えながら、制限字数の中で述べさせる。理解力・思考力・表現力をみる。

【採点基準】

問1

- ① 対象者とのやり取りに、「受け身でなく」、「意見を聞く機会を自らつくって」、「傾聴する」エピソードを含めて、わかりやすく述べられているか。 (理解力・読解力・表現力)
- ② 字数制限を守っているか。 (理解力・表現力)
- ③ 誤字脱字がないか。 (表現力)

問2

- ① キーワードとなる、「受け身でなく」、「意見を聞く機会を自らつくって」、「傾聴する」についての内容を含め、受験生の考えていることがわかりやすく述べられているか。 (理解力・思考力・表現力)
- ② 受験生本人のこれまでの経験談と、これからどのようにしていこうとするかという考えの両者が述べられているか。 (理解力)
- ③ 字数制限を守っているか。(9割以上書かれている) (理解力・表現力)
- ④ 誤字脱字がないか。 (表現力)

【解答例】

問 1

緩和ケア病棟では、管理栄養士が毎日訪室すると食事に対するプレッシャーを感じる人が少なくないため、状況を見て訪問するようにしていた。また、当該患者には、個別対応食でサイクルを組み、毎日同様の食事内容で提供していた。食事内容に変更の希望はなく、看護師を通じての確認だけで問題はないととらえていたが、実際には、食事に満足していたのではなかったから。

(171 字)

問 2

私は、高校生活の3年間、クラス委員を務めてきた。クラス委員には、クラスリーダーとして全体をまとめる任務がある。私の高校では、学校祭で、クラスで育てた農産物を販売するのだが、どのようにしたら来場者に商品を買っていただけるかを、クラスの先頭となって考えてきた。役割分担を決め、その役割をクラス全員が果たしていく。その際、進捗状況を積極的に把握するように努めた。それぞれの役割は独立したものであるのもので、勝手に進めていったのではまとまったものができなくなってしまう。各役割がお互いに連動できるように、意見や疑問に思っていることを聞き出し、全体調整を行った。その結果、準備だけでなく、販売当日も滞りなくイベントを進めることができ、商品を完売することができた。

私には、将来高齢者施設で栄養士として働きたいという希望がある。高齢者施設には、栄養士をはじめ、介護士や看護師等、様々な職種のスタッフがいる。何か業務を行おうとする際には、他職種の方々にも積極的に相談し、専門的な立場からの考えを伺っていきたいと考えている。自分の考えだけに固執することは、偏った結論しか生まれず、結果として対象者に対して十分なサービスを提供できないことになる。本文での作者の体験談や、私の高校での経験も踏まえ、対象者に耳を傾け、望んでいることをくみ取り、気持ちに寄り添っていけるような栄養士になりたいと考えている。

(590 字)